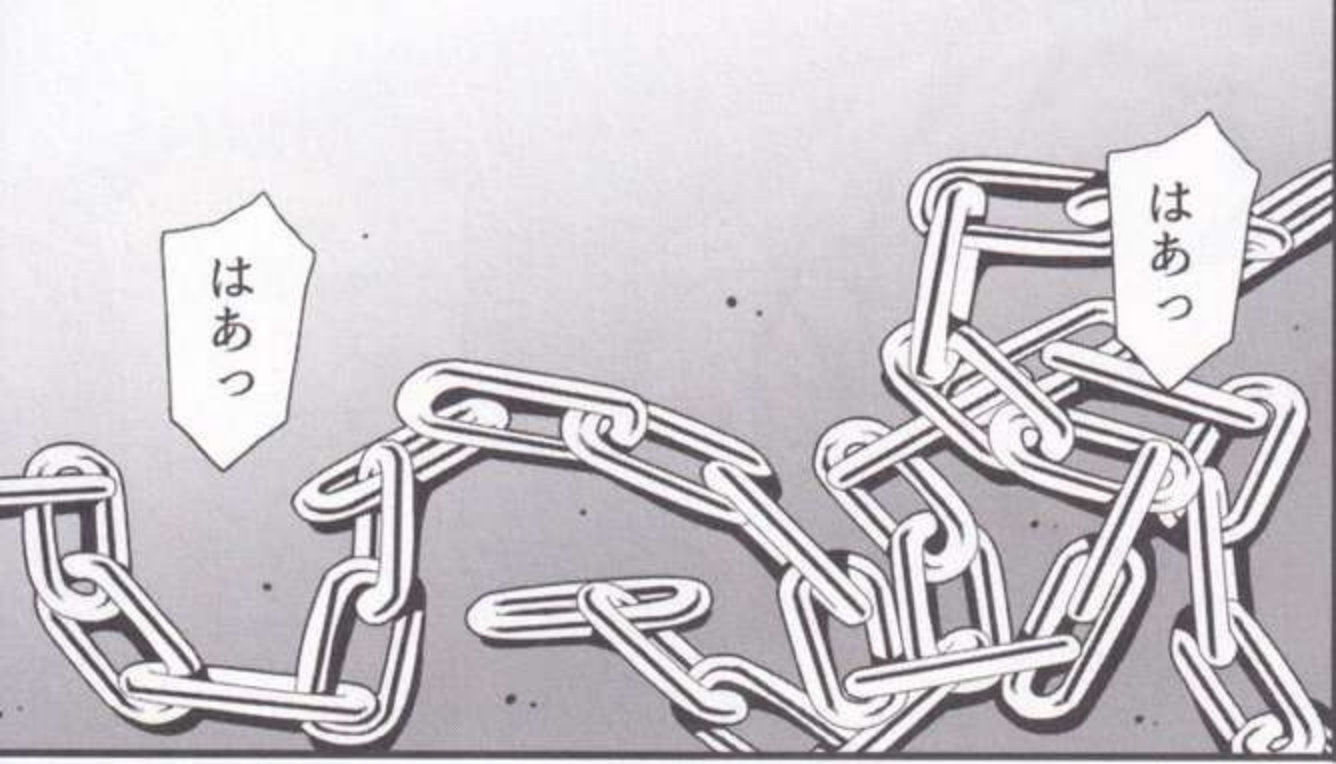


妖精騎士は
拘束されたい!!

ゆきやなぎの本 51

成年向





はあっ

はあっ



よし：
じゃあ
始めるよ
今夜も

いいよね：
バーゲスト？

ニャラァァ



はあっ

はあっ

「大食らいの
ガウエイン」
とも：

：「愛多きガウエイン」と
呼ばれているの

ああ…
早く来てくれ
マスター…

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

いっぱい…
いっぱい…
してエ…♡

いつも…
愛を探しているの
真実の愛を…

では…
私と
マスターは…?

はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡

最初… 私とマスターは
ごく普通の
恋人とうしだった…

はあ~~~~
つかれた…

ふう…

ブラック
すぎるよ
この職場…

お
わぶ

マスター!!
お帰り
なさいっ

バーゲスト!!
待ってて
くれたの!?

ご無事で
何より
ですっ!!

はい♡

そろそろ
ミッションから
お戻りになる
頃かと…

僭越ながら
お食事など
用意して
おきました

わっ…
わっ…

わっ
すごい!!

おいらっ



ケガなど
されません
でしたか？

大丈夫だよ
みんなが
守ってくれた
から

でも
ありがとう
バーゲスト

ん…

私がついて
いけない任務は
不安で…

…♡
バーゲスト

あ…

ギィ…

ギィ…

だ…
ダメです
マスター

その…私
お料理で
汗をかいて
しまったから…

かああ

そんなの
気にしない
よ

だって僕
ずっと
こうした
かったんだ

アッ

あ…

任務の時
ずっと…

ちゅん

あっ

んっ

ふっ
ちゅん♡

バーゲストと
こうしたいって
思ってた…!!

びん

はあ

ああ…
マスター

はあ

んんっ…

ふっふっ
ふっふっ
ふっふっ

バーゲスト…
バーゲスト!!

あっ…
ああっ

あ…
マスターの
カタい…っ

カタくて…
すごく
熱くて…♡

ダメえ…
マスター…っ

そんなに…
私に欲情して
くれている
なんて…

あ♡

ああ
マスター!…♡

おるおる

おるん

ああ…
バーゲスト

はぁっ

はぁっ

あ♡

ハッ

ハッ

グググ

おるん

おるん

おるん

会いたかったよ…
ミツシヨンの間中
ずっと

ずっと…
君のこと
考えてた

いっぱい
エツチしたい
って…!!

いくよ…
バーゲスト…!!

早く…
早く君に
会って

そんなに
私のことを…っ!!

ああ…
もうガマン
できないっ

ああ
マスター…

あふっ♡

はうっ♡

はあっ
あっ

はあっ

あっ

はあっ

はあっ

ぢゅっ♡

ぢゅっ♡

三っ♡

ぢゅっ♡

ぢゅっ♡



ああ…
マスター…
マスター…
マスター…



あ…
いいよ
いいよ
バーゲストっ



あ…
気持ちいいっ

あっ♡
ほあっ♡
ほあっ♡

ほあっ♡
そんな
がむじやらに
腰を使っ…

マスターは
あまり経験が
ないらしくて

バーゲストの
中…っ♡

ピストンもまだ
不器用なんだ
けれど

好き…
好きだよ

ああっ

でも…
そういうところが
愛しくて…

もっともっと
気持ちよくなって
あげたくなって
しまう…

ほあっ♡

ほあっ♡

いっぱい…
射精させて
あげたくなる…っ♡

く…
出るっ
いく…
いくよ…ッ

くうっ

くうっ!!
うっ!

好き…
大好き…っ♡♡

バーゲスト…
バーゲスト…っ!!

ああ…
マスター…

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡





うーん…
バーゲスト…

好きよ…
私のマスター

こんなに
誰かを好きに
なつたのは
初めて…



ああ…
本当に



そして…
マスターも
私のことを…

マスターは
どのサーヴァントでも
選べる立場だと
いうのに

ああ…
なんで私は
幸せなんだろう



でも…
それは
不吉なこと

好きになれば
なるほど
私は自分を
抑えられなくなる

いつか…
マスターを
傷つけて
しまう

いいえ…
それどころか
これまでの
恋人たちのように

グッ…

すー

いつか
この手で
マスターを…!!

くッ

くそ…
どうすれば
いい？

私は
自分を
止められない

でも…
マスターと
離れること
なんて…

いったい
どうすれば…!?

そうだ…!!

え？
縛る？

縛るって…
君を？
バーゲスト

そ…
そういうのに
ちよつと
興味があつて…

か…
かまわないか
マスター…？

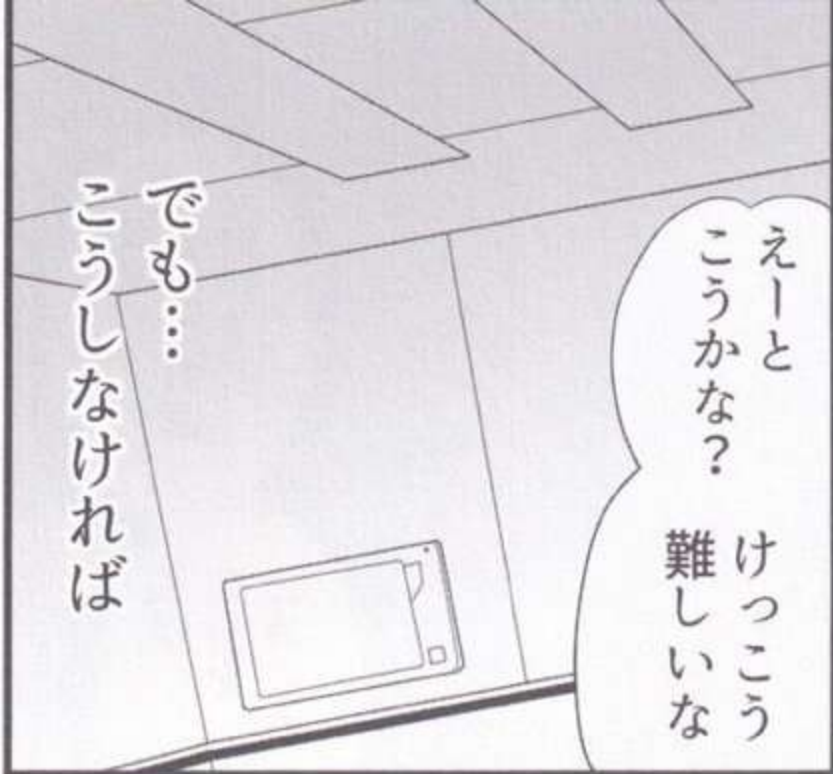
かあ

ふうん…

いいよ！
君が
そう言うなら

あ…
ああ
そうだ

たまには
そういうのも
いいよねっ



あ…ああ
頼む
マスター…

すまない…
マスター

えーと
こうかな？
けっこう
難しいな

でも…
こうしなければ



これからも
ずっと
二人でいる
ためには
こうでも
しなければ…!!



だ…
大丈夫？
痛くない？

ああ…
大丈夫だ

このぐらいい
しつかりして
いなければ
安心できない

え？
安心？



いや…
何でも
ない

冷たい鎖が
肌に食いこむ…



私がマスターに
何もできない
ように…

バ…
バーゲスト

んっ

なんだか
ドキドキ
してきた…
どうしてかな？
すごく
かわいいよ

バーゲスト
…!!

びん！

ぼんっ♡

あ…っ
マスター！

ああ…
いやらしい
よ

いいじゃないか… 今日
は
たっぷり…♡
いつもは
あんまり見せて
くれないから

こんなに
ぷっくり
して…

やあっ
見ちゃダメ
マスター！
そんな
ところ…っ

おちっ♡

かあ

あ

あ



あ：
ダメっ
ダメえ

マスター
いやあ…っ

ああ：
バーゲストの
おま〇こ…

ぐちよぬれで
かわいい…っ

うっ♡
んっ♡

マスター…
ああっ♡

ダメ：
なんだか
いつもより
感じて
しまう……っ

バーゲスト♡
バーゲスト♡

アロ♡

あ♡

はあっ

ああ
ああ
どうして……？

はあっ

いや…
ああっ

そこ…
ダメええっ♡

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

いやらしいよ
バーゲスト♡

どうして
こんなに
感じちゃう
の……っ

はあっ

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

いい？
気持ち
いい？

イクとこ
見せて……っ！

あっあっ
ダメええっ

はあっ

ああん
どうして...♡♡♡

ん...くウ
いくっ♡

は...♡

は...♡

は...♡
は...♡

イクううっ♡
マスター...っ♡♡♡

は...♡

は...♡
は...♡
は...♡

いつもより...
おま〇こ
感じるウ...っ♡♡♡

ああ...
最高だよ
バーゲスト

縛るの...
すごく
気に入った
よ...♡

ああ…
私のマスター…

どんどん
あなたを
好きになる…

だから…
もつときつく

きつく…
私を縛って…

ギョウ

あうっ…

決して…

私があなただけを
傷つけられない
ように…!!!

んっ

もっど…もっど
きつく…!

ん♡
ん♡

ああ…
ステキだよ
バーゲスト

妖精騎士が
こんなに
エッチ
だなんて

ああ…
私の
マスター…

私は
あなたの
ものです…

はあ♡
はあ♡

ああ…
バーゲスト

れる
れる



とっても
かわいいよ…

その服も…
よく
似合ってる

あなただけの
忠実な騎士…♡

気に入って
くれたかい?

はい…
ありがとうございます
ございます

バーゲスト
...!!

ああ：
イイよ
すごく...

拘束されてる
君を見てると...
たまらなく
なるっ

もつと...
もつと
犯して...

めちやくちやに
したく
なる...っ!!

ああ：
マスターったら
こんなに
カたくして...





バーゲスト！
バーゲスト
…っ！

ああ…
マスターに
犯されてる…
口を…

まるで…
おま〇こ
みたい…っ

ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡



ダメだ…
頭が
ぼうつとする…

自分が
抑えられなく
なる…

もつと
もつと
マスターを…
このチ〇ポ…
欲しく
なる…っ

ズッ♡



ああ…
好きっ
マスター…

もつともつと
しゃぶらせて…♡

バーゲストに
ご奉仕
させて…っ♡

ああっ…
すごいよ
バーゲスト…!!

ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡

ううっ
イクよ…
バーゲスト!

うっ!
出る…
出る…っ!!

わ…
私の口の中で…
うれしいっ♡

ああっ
ダメ…
私もイクっ♡

あっあっ
マスター…
イツてる…
イツてくれる…♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

マスターの
精液
ごくごく
しながら…

ああっ
イクっ♡
イツちやん…っ♡
♡♡♡

ダメ…
もオ
限界…っ

この…
むせ返る
精液の
匂いで…

はあッ♡

はあッ♡

何も…
考えられなく
なる…っ

このチ○ポ…
私のものに
するッ

はあッ♡

はあッ♡

はあッ♡

あッ♡

あッ♡

私だけの
ものに…っ!!

うあっ…
バーゲスト

だめだよ…まだ
イッたばかりで

ああ…
吸いつくっ

フェラ
されてる
みたい
に…っ

あッ

あッ♡

ああ…
好き♡
マスター…

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あぁっ
腰…止まらない
止められないッ

はッ

はッ

いいっ
マスターの
チ○ポ…
いいっ
いいっ

ズ
ズ
ズ

はッ

タッ

タッ

バーゲスト
すご…っ

このチ○ポ
おいしいっ
たまんないのオッ

キッ

キッ

はっ

はっ

あぁ…
イイ…っ

マスターの
おいしいチ○ポ
おま○こで
食べたいのオ
もっ
もっ

あっ
もっ
もっ
もつと来てエ

はっ

ズ
ズ

あぁっ

あぁっ

キッ

キッ

ああ…
マスター
好き…っ♡

食べてしまいたい
ぐらい…っ♡♡

ああ…
ダメだ
止められな…っ♡
このままじゃ
私は
マスターを…!!

ああっ…
バーゲスト

そんなに
しめちゃ…

うあっ
あゝゝ

くう…
バーゲスト

!

あーっ

はあっ♡

はあっ♡

はあっ♡

はあっ♡

あーっ

あゝ

あゝ♡

あゝ♡

あゝ

あゝ

あっ…!?

せーっ

鎖が…!

わ…
私の恐れに
気づいていたのか
マスター…?

大丈夫だよ
バーゲスト
心配しないで

僕は
今までの
君のお相手とは
違うから

マスターって
そういうの
わかつちやうん
だよ

まあ
なんとなく
ね

確かに
君の言うとおり
鎖は必要だね

ふう…
あぶない
あぶない

何も心配
しなくて
いいよ

君はただ僕の
言うとおりに
していいよ

僕がちやんと
支配して
あげるよ
バーゲスト

くうっ

アッ

アッ

はぁっ♡

はぁっ♡

ううっ♡

おっ

アッ

おっ

おっ

あ

あ

すぐち○ポに
夢中に
なっちゃう
スケベな雌犬は

僕が
きっちり
調教して
あげる♡

ああ…
マスター
そんな…

何もかも
お見とおし
だった
なんてっ

ほら…
もつと
股開いて？

よーし
しつかり
覚えるんだ

ほらっ…!!

ああ〜っ
♡♡

あうっ♡

あ♡

はあ♡

あ♡

はあ♡

奥まで
ぶちこめる
ように…っ

あっ

はっ♡

あっ

はっ♡

これが
バーゲストの
ご主人様の
チ○ポだよ

はは…
いやらしい
なあ
バーゲストは

ズル
ズル

ズル
ズル

ズル
ズル

ズル
ズル♡

タッ

タッ

ズル

ズル
ズル

♡

—

ああ：
イイよ
バーゲスト

これまでハメた
どの
サーヴァント
よりも

気に入ったよ
この
おま〇こ♡

あ♡

はぁ♡

はぁ♡

あ♡

好きだよ：
バーゲスト

だから：僕の
性欲処理用
サーヴァントに
なってくれるよね

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

え…

そ…
そんな…

いい
よね？

え…
なに…？

なんて
言ったの
マスター…？

あうッ

はぁ♡

今日から
君は僕専用の
ハメ穴だよ

わかったね
バーゲスト？

はぁ♡

はぁ♡

ああ…ダメ
頭が
とろけるウ…

あ♡

逆らえない…
この
チ〇ポに…♡

好きだよ…
バーゲスト

かわいい
僕の雌犬…♡



ああ…
マスター…♡

こうして…
私はついに

永遠の愛を
みつけたのです…♡



DL 作品

多数配

信中!!

DLsite.com、FANZAさん等にて「ゆきやなぎ」で検索してね!!



やったー！！
やっとバゲ子さんの本出せました！！
お楽しみいただければ幸いです！！

ゆきやなぎ

発行 シャルロット・ココ

印刷 コーシン出版

連絡先 yukiyanagi1111@gmail.com

<http://yukiyanagi01.sakura.ne.jp/>

無断転載、無断複製、無断アップロード、
無断AI学習を禁じます。

18歳未満の閲覧、購入を禁じます。